

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	16	学校名	静岡県立小山高等学校	校長名	鈴木 広隆
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
全日制	地域社会と連携した教育活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動、生徒会活動、学校行事などを通して、地域との交流が図られている。」生徒、教員 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事に演奏・演舞やボランティア活動参加していただき地域貢献していただいている。 小山町に關係する高校生議会やインターンシップに参加することで、地域資源を活用できている。
全日制	生徒の適性や希望に応じたきめ細やかな進路指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 「学校は進路情報を提供し、進路説明会を開くなど、計画的な指導を行っている。」生徒、保護者 80%以上 「学校の進路指導には満足している。」生徒、保護者 85%以上 「(3年生進路決定者のみ) 決定した進路先に満足している。」生徒、保護者 95%以上 「(教員のみ) 学びの基礎診断、模試を学習指導や進路指導に有効活用した。」教員 80%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 生徒や保護者が進路結果に満足できているというアンケート結果により、進路指導は充実しているといえるのではないかと。 進路に関する情報提供を、様々な方法で行っているように思う。
全日制	主体的・対話的で深い学びを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 「先生方は、わかりやすく学力がつく授業を行っている。」生徒 90%以上 「生徒は、授業や課題に主体的に取り組んでいる」生徒、保護者、教員 80%以上 「(教員のみ) 総合的な探究の時間の趣旨を理解し、指導することができる。」教員 80%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> 「生徒は、授業や課題に主体的に取り組んでいる」の結果について、教員、生徒の結果に大きな差がある。これは、捉え方の違いではないか。この点について、互いがどのように捉えているかの検証が必要。 総合的な探究の時間として高校生議会も行っているならば、十分な取り組みではないか。 総合的な探究の時間は、私たちがやってこなかった授業なので、これまで何をやってきたのかを知らなかった。

様式第5号

全 日 制	教育DXを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は、ICTの活用等、授業改善に積極的に取り組んでいる。」生徒、保護者、教員 85%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTについては、授業等でもよく取り組んでいるのではないかな。 ・ICTが深い学びに対して生きた使い方ができているかが大切。
全 日 制	生徒の主体的な活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒は、生徒会活動や学校行事に主体的に取り組んでいる。」生徒、教員 90%以上 ・「笙陵祭、修学旅行、クロスカントリーなどの学校行事は充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「部活動はさかんで充実している。」生徒、保護者、教員 90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動については、生徒数減少の中でありながらも、よく取り組んでいるのではないかな。 ・コロナによる行動制限がなくなり、学校行事が充実してできていると思う。生徒は、学校行事をとおして良い思い出をたくさんつくることできているのだと思う。
全 日 制	人権意識を涵養し、成長を促す生徒指導を実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は元気な挨拶ができる。」生徒、保護者、教員 90%以上 ・「小山高生は正しい身なりや服装が習慣化できている。」生徒、保護者、教員 90%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校外で小山高生を見かけるが、どの生徒も身なりは良い。 ・挨拶等について、「大人しい」生徒が多いように感じる。 ・時代の変化により、挨拶の声が小さいのは小山高生だけの問題ではないのかもしれない。 ・挨拶は成長とともに減るものではないかな。
全 日 制	生徒が安全・安心に登校できる教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「小山高生は安全・安心な学校生活をおくることができている。」生徒、保護者、教員 95%以上 ・「小山高生は交通法規を守り、事故防止に努めている。」生徒、教員 90%以上 ・「友人や先生など悩みを相談できる人がいる。」生徒 90%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小山高生は、安全・安心な環境の中で充実した学校生活を送ることができている印象がある。 ・悩み相談が 85.9%は年齢的に見てかなり高い。 ・施設設備等の面は問題ない。 ・自転車の切符については、相手がいることなので注意させたい。
全 日 制	働きやすい職場環境と法令遵守の姿勢を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「(教員のみ) 教職員間のコミュニケーションは活発であり、チームとして機能している。」教員 80%以上 ・「(教員のみ) お互いのワークライフバランスを尊重しつつ、教育活動に協働して取り組んだ。」教員 80%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークライフバランスについては、アンバランスであってもよいのではないかな。人によって家庭と仕事の重心の置き場所が違ってよい。そして、それをお互いに認めあえればよい。 ・昔は、生徒のために多くのことをやってくれた先生が良い先生という考えもあった。 ・教職がブラックということも言われる。先生方には健康面を大切にしてもらいたい。また、教員希望者が多くなってもらいたい。

様式第5号

全 日 制	地域に開かれた学校を目指して情報発信を行う。	・「保護者、中学生、地域に学校の魅力が伝えられるような情報発信をしている。」80%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタがとても充実している。小山高校のファンを増やすのは良いこと。 ・学校案内が工夫されている。新制服を着ている生徒の表情などが大変良い。 ・例えば、野球部が定期的に学校の周りを掃除するなど、日頃の些細な事なども発信したらどうか。
定 時 制	自立の心を持った生徒を育てる生活指導とすべてに優先する安心安全な学校作り (ア) 挨拶の励行「挨拶は、人に好かれる魔法の言葉」 (イ) 積極的な交通指導と校内巡視 (ウ) 生徒会活動の活性化 (エ) 学校生活のルール・マナーを徹底 (オ) 施設、設備の安全管理の徹底	・登下校を含む学校生活における重大事故発生0件	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生件数0件で良かった。 ・いじめ、恐喝、窃盗の発生1件について、内容は不明だが、1件はあり得ること。そのトラブルが学びの場となれば良いのではないか。そこから生徒がいろんなことを学んでいくことが大事。 ・授業中の離席や私語等について評価が低かったが、それも1人や2人であるのなら、その生徒たちを今後どう指導していくかが大切であって、それを理由に評価をBにする必要はないのではないか。 ・中学校時不登校等、様々な問題を抱えた生徒たちが定時制で頑張っていることが素晴らしいと思う。 ・何らかの問題を抱える生徒もいると思うが、根気強い指導をお願いしたい。
		・いじめ、恐喝、窃盗の発生0件	B		
		・「授業・生活アンケート」の主体的行動、生活態度の項目における肯定的自己評価90%以上	B		
定 時 制	基礎基本の定着と自ら学ぶ姿勢の育成 (ア) 生徒一人一人の学力の把握に努め、資格取得を推奨 (イ) 学習支援員による授業外での学習支援 (ウ) 生涯学習の基礎作り	・授業アンケート評価 10 項目で肯定的評価全て 95%以上	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケート結果から、生徒が授業に「満足している」ということが読み取れる。 ・素晴らしい。これからも引き続き生徒の学ぶ姿勢を育てていってほしい。 ・定時制なので様々な生徒がいて当たり前、その生徒に対してどんな関わりを持てたのか、どんな指導ができたのかを評価として見とれるようにしていってほしい。 ・学校に通ってきている生徒は、何かしら目的を持って来ているので、その生徒一人一人を大切にしていってほしい。 ・学びたいという気持ちを維持できるような学習支援が必要。
		・「基礎力診断テスト」の正解率 60%	—		
定 時 制	勤労観及び自ら進路を切り拓く力の育成 (ア) ハローワークや地域の関係機関と連携し、キャリア教育を充実 (イ) 地域の人材等を活用し、地域の	・進路未決定者0人	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・4年生2名の進路決定、大変素晴らしい。 ・進路行事について、なかなか時間等の制約があり設定が難しいと思うが、引き続き各学期に実施していってほしい。 ・行事が非常に充実している。今後も、企業人講話は継続していってほしい。人生の先輩たちの生の声を聞くことができる大変良い機会となる。ぜひ、様々な分
		・進路行事、各学期1回実施	A		

様式第5号

	産業や課題について学ぶ機会を充実				<p>野の方を呼んで実施してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去に未決定者0人で無かったことはあるのか、あるのなら0人は素晴らしい。 ・外部や経営者の話は貴重な経験となる。
定時制	<p>家庭・職場・地域からの理解及び協力を得た生徒支援体制の充実</p> <p>(ア) 教育活動の内容について保護者や地域へ積極的に情報を発信</p>	・HPを見た家庭の割合 60%以上	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「HPを見た家庭の割合 60%以上」が判定不能でBとなっているが、ホームページの更新も充実しているようなので、BではなくAでよいのでは？ ・生徒自身も母校に誇りと関心を持てる指導を日頃からお願いしたい。 ・HP更新をしっかりとっている。
		・HPを見た教員の割合 100%	A		
定時制	<p>業務改善による豊かな教員人生の確保</p> <p>(ア) 教材研究や情報交換の時間の確保</p> <p>(イ) 各教員の休暇取得の推奨</p> <p>(ウ) 自己研鑽や心身のリフレッシュによる教育効果の向上</p>	・「生徒と向き合う時間」や「指導準備時間」が増えていると感じる教員の割合 100%	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「生徒と向き合う時間が増えているかどうか」というはっきりとした視点を判断基準にしていることが素晴らしい。目標として意識することが大事。今後もこの視点を失わないでほしい。 ・割合 100%ではなく、目標設定は 85%くらいにした方がよい。 ・教員の身体・健康は心の健康につながるので、ぜひワークライフバランスについては今後も心掛けて行ってほしい。 ・年休を取りやすいかどうかは個人的なものもあるのでは？ ・年休が取りづらいのは改善が必要。休まないといけない。
		・職員の年休等休暇取得率 前年度比 10%増	B		